

# 彩の歳時記

平成三十年 十二月

江雪 柳宗元

千山鳥飛絶

萬徑人蹤滅

孤舟蓑笠翁  
獨釣寒江雪

千山 鳥飛ぶこと絶え  
万径 人蹤滅す  
孤舟 蓑舟の翁  
独り釣る寒江の雪

「遙かに山々の嶺を見れば鳥の飛ぶ姿も見えず。幾条もの小道では人の足跡も雪に消えた。舟を出しているのは蓑笠じじいのこの私だけ雪の降りしきる川で独り釣り糸を垂れることよ

雪降る冬の川で一人釣りをする【寒江独釣】の語源の詩。

「たった、二十字の中に一つの世界が凝縮」と言われる名詩。

「山水画」など、多くの画題となっており、食事処などで一度は目にしたことがあるのでは。作者の柳宗元【773～819】が

左遷された「寒江」で己の境遇に擬えて、謳ったと言われます。

慌ただしさに追われる「年の瀬」十二月、釣り糸を垂れ、来し方行く末に思いを馳せるのも、良い時間かもしれませぬ。



## 十二月の暦

師走(しわす) 一昔前は家々で師(僧)を迎え、読経など仏事を行った為、僧(師)が(走)り回る月。

一日 世界エイズデー 世界保健機関(WHO)が意識を高めるために1988年(昭和63年)に制定した。

七日 大雪 たいせつ 【二十四節気】雪おおいに降る頃と言いますが。

八日 太平洋戦争開戦の日 1941年(昭和16年)ハワイの真珠湾を急襲、戦争の火ぶたが切られた。早、七十七年の歳月が経ち、戦争に対する思いも薄れつつある事に危機感も。

九日 漱石忌 近代小説家・夏目漱石【1867～1916】の忌日。紙幣ともなった「漱石」は



現代においても最も有名な作家で、現在も多く読者を得、研究書も後を絶たない。

十日 ノーベル賞授賞式 ノーベルの忌日のこの日にスウェーデンのストックホルムで行われる。今年京大医学部卒の医師・本庶佑(ほんじよたすく)氏【1942～】が医学生理学賞に。

十四日 赤穂浪士討入の日 1702年(元禄15年)新暦では一月三十日で雪が多い頃。



本所松坂町にあった吉良邸(現・松坂公園)で、この日、午前中は義士祭、午後は吉良祭。人形浄瑠璃・歌舞伎の『仮名手本忠臣蔵』は、この事件を元にしたもの。

二十二日 冬至 とうじ 【二十四節気】「一陽来復」一年で最も日が短く、翌日から日が長くなる事から、太陽が生まれ変わる日と捉え、古くから世界各地で祝祭が行われていた。



二十三日 天皇誕生日 1933年(昭和8年)のこの日、御生誕、即位は昭和六十四年一月七日。平成三十一年四月三十日をもって退位され、平成の時代の幕が下ろされる。



二十四日 クリスマス・イブ・振替休日 キリスト降誕の前夜祭。宗教とは関係なく年中行事のように。振替休日は1973年(昭和48年)年4月から設けられた休日。

二十五日 クリスマス 古代ヨーロッパの祝祭(その年の冬至)とキリストの誕生日が一緒だった為、クリスマスになったなど諸説がある。



二十七日 官庁御用納め 1873年(明治6)に決めた官庁の公休日は、1月1～3日。土・日曜日にあたる場合は、直前の金曜日となる。

蕪村

三十一日 大晦日(おおみそか) いざや寝ん元旦は又明日のこと

## 十二月の歌 白い恋人達

詞曲 桑田佳祐【1959～】

「白い恋人たち」は、原題【13 Jours en France】＝フランスにおける13日間

1968年、クロード・ルルーシュ監督の映画。フランスのグルノーブルで開催された第10回冬季オリンピックの記録映画の主題歌でフランシス・レイ作曲でヒット。日本では、ザ・ピーナッツが歌唱、屈指のバラードと言われる。

桑田が映画館で鑑賞した帰りに曲が生まれ、「冬が来るたびに愛される曲にされたかった」と語り、今もファンを中心に根強い人気曲。

夜に向かって雪が降り積もると  
悲しみがそっと胸にこみ上げる  
涙で心の灯を消して  
通り過ぎてゆく季節を見ていた  
冬はため息さえ凍りついて”

あ、あの赤レンガの停車場で  
二度と帰らない誰か待ってる

Woo 後略